

地域福祉の担い手調査 結果

1 調査目的

令和6年度を始期とする【仮称】第5期旭川市地域福祉計画・旭川市社会福祉協議会第7期地域福祉活動計画の策定に当たり、地域福祉の主な担い手である民生委員児童委員及び地区社会福祉協議会の活動者に対して、日々の活動や地域福祉の現状・課題、今後の在り方等について調査し、計画づくりの参考とする。

2 調査期間

令和5年6月5日（月）から令和5年6月30日（金）まで

3 調査対象等

(1) 調査対象 1015名

- ア 民生委員児童委員 旭川市内全ての民生委員児童委員（760名）
- イ 地区社会福祉協議会 活動休止中を除く51地区（各5名）の活動者（255名）

(2) 調査・回答方法

本調査に係る質問紙を、地区民生委員児童委員協議会会長及び地区社会福祉協議会を通じて調査対象に配付した。

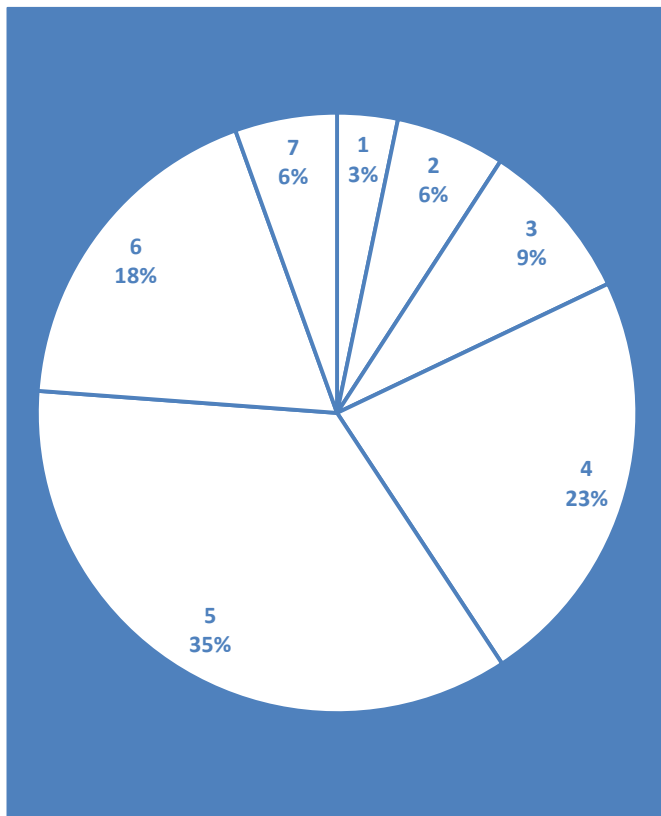
回答については、回答記載後の質問紙の郵送提出又はインターネット上の所定のフォームへの入力・送信のいずれかの手段によるものとした。

(3) 回答者数 491人（回答率 48.4%）

問 1 年齢を教えてください【一つのみ選択】

n= 491

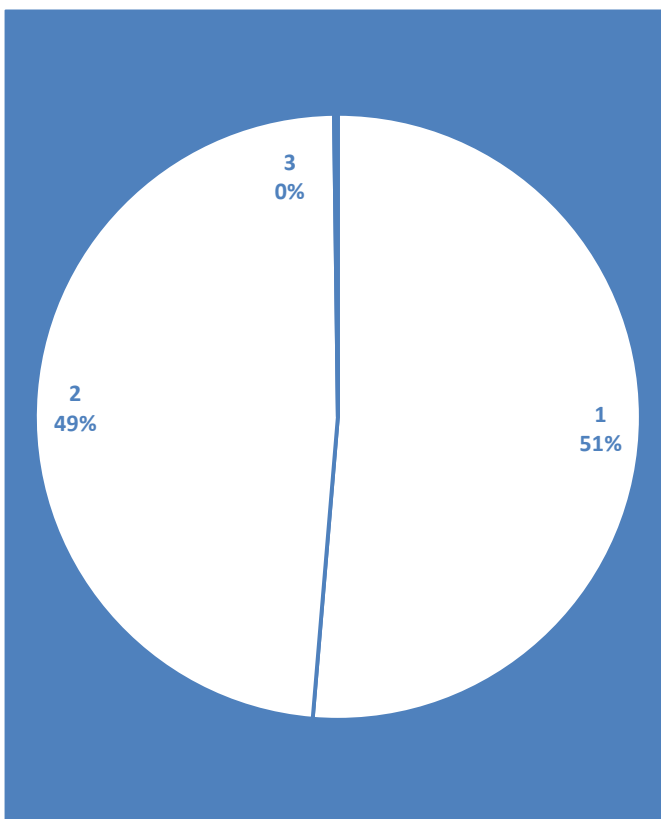
1	49歳以下	16
2	50～59歳	29
3	60～64歳	43
4	65～69歳	112
5	70～74歳	174
6	75～79歳	90
7	80歳以上	27



問 2 性別を教えてください【一つのみ選択】

n= 491

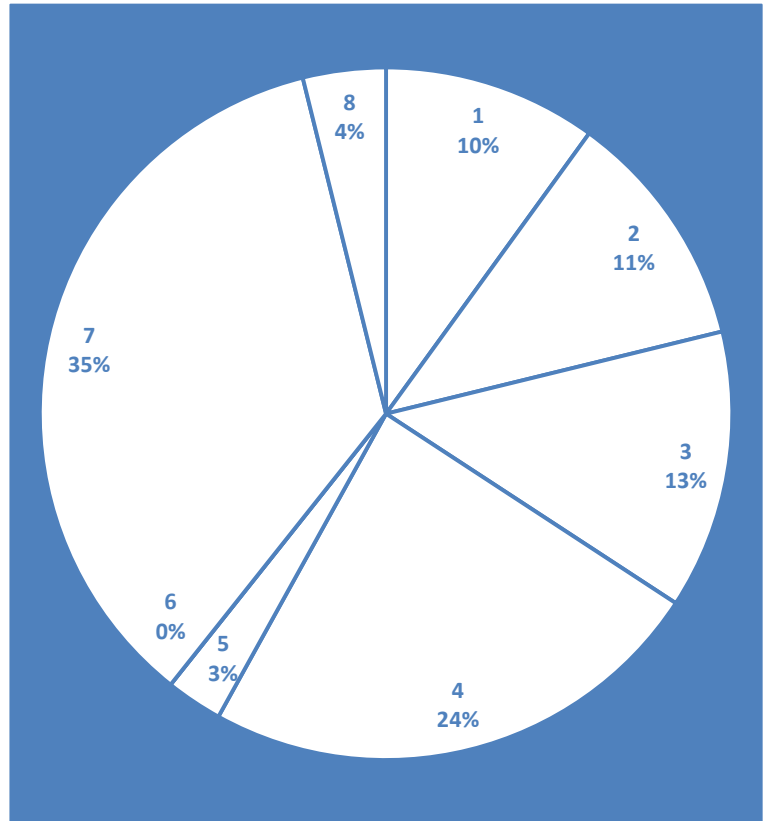
A	男性	252
B	女性	238
C	無回答	1



問 3 主たる職業を教えてください【一つのみ選択】

n= 491

1	会社員・公務員	49
2	自営業	55
3	パート・アルバイト	64
4	専業主婦・主夫	117
5	農業	13
6	学生	0
7	無職	174
8	その他	19

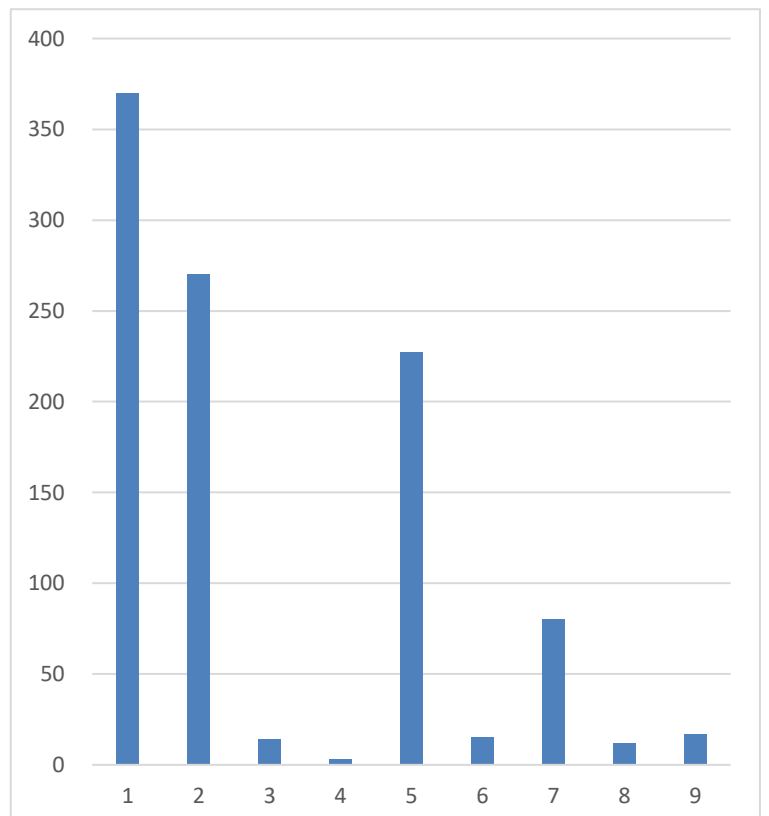


問 4 現在携わっている地域福祉活動（※1）について教えてください【複数回答可】

※1 地域住民の一人一人が、その人らしく生き生きと暮らせるように、地域における支え合いや助け合いを中心として、地域における福祉課題の解決に向けて取組む考え方

n= 491

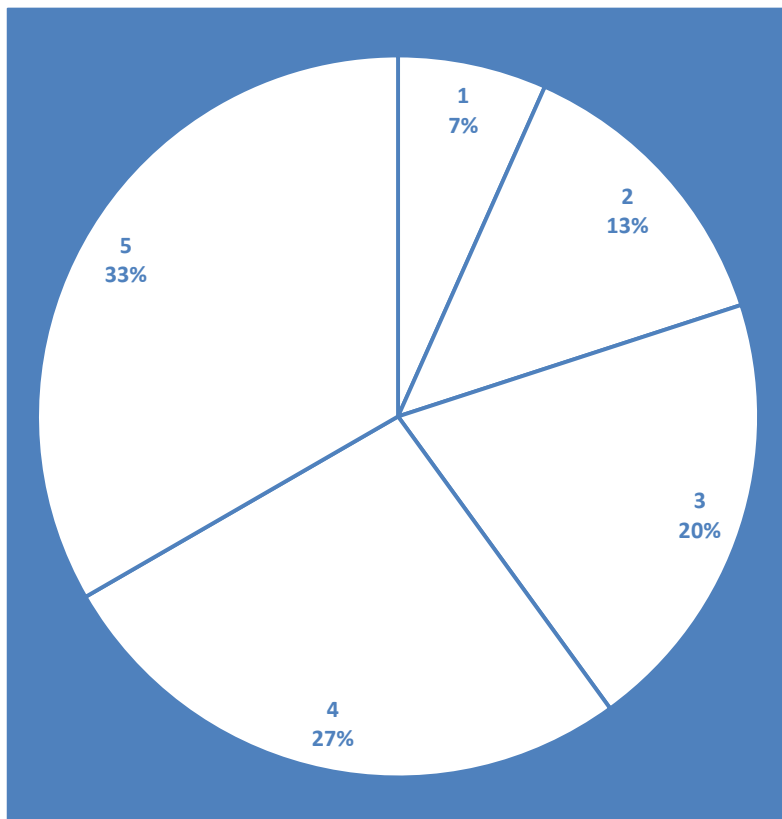
1	民生委員・児童委員としての活動	370
2	地区社会福祉協議会における活動	270
3	保護司としての活動	14
4	人権擁護委員としての活動	3
5	町内会や市民委員会の福祉に関わる活動	227
6	NPOなどでの福祉に関わる活動	15
7	地域や施設等での無償のボランティア活動	80
8	有償の相互援助活動（ファミリーサポートセンターなど）	12
9	その他 <以下の枠内に記載してください>	17
合計		1,008



問 5 地域福祉活動に携わっている期間を教えてください【一つのみ選択】

n= 491

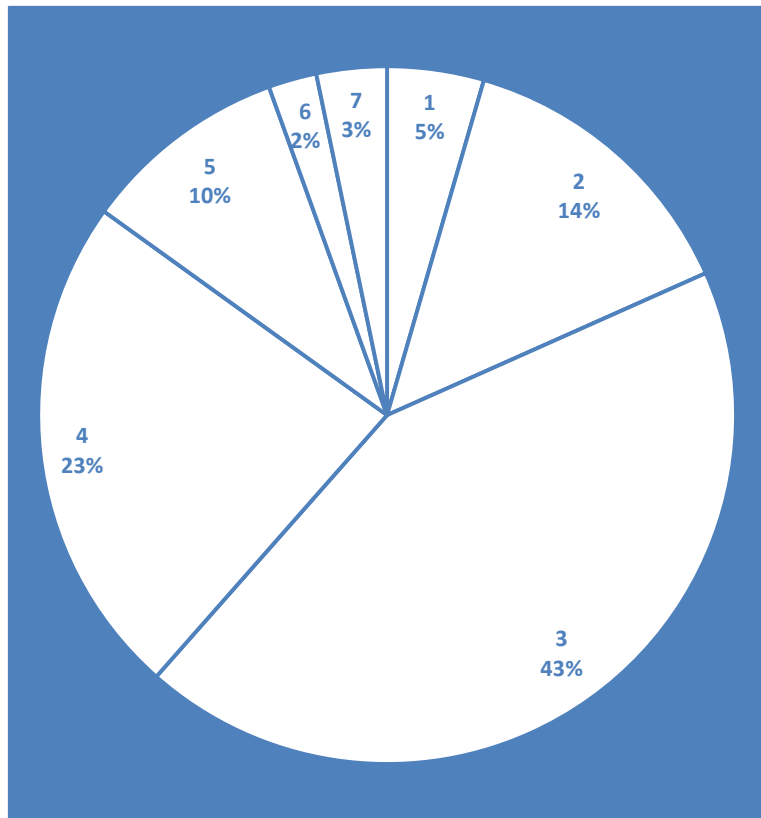
1	1年未満	50
2	1～5年未満	101
3	5～10年未満	129
4	10～20年未満	143
5	20年以上	68



問 6 地域福祉活動についての負担感を教えてください【一つのみ選択】

n= 491

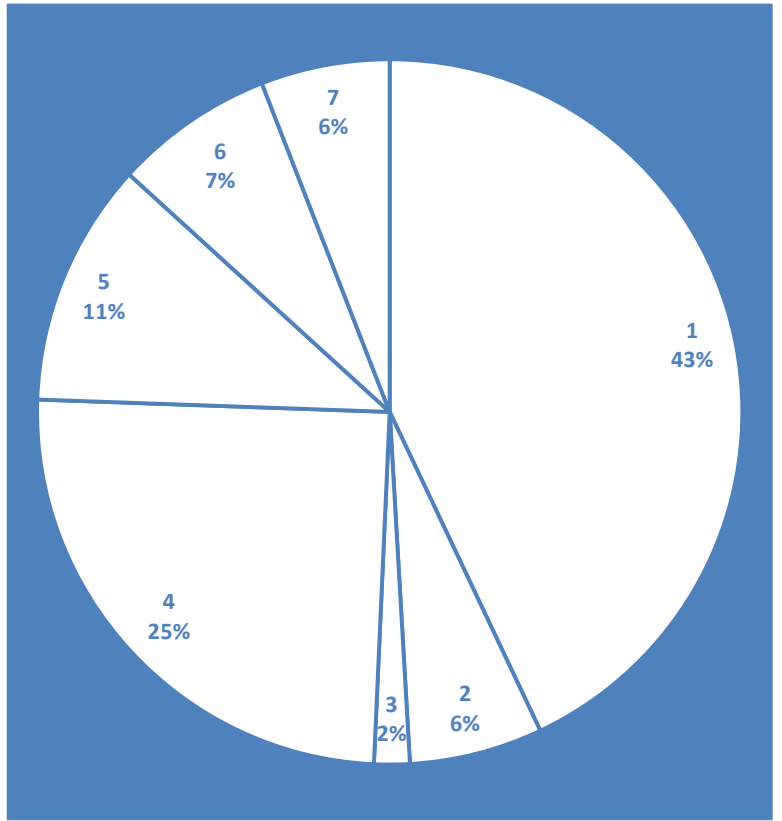
1	とても負担を感じる	22
2	負担を感じる	68
3	やや負担を感じる	212
4	あまり負担に感じない	115
5	負担は感じない	47
6	わからない	11
7	その他	16



問 7 今後の地域福祉活動について、どのようにお考えか教えてください【一つのみ選択】

n= 491

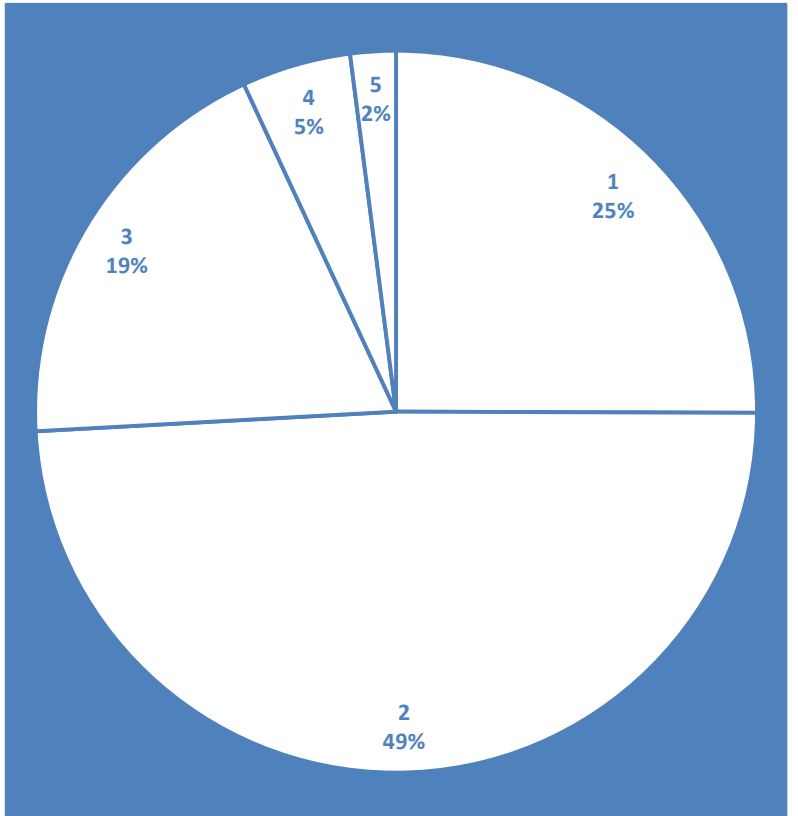
1	現在の活動を続けていきたい	211
2	現在の活動に加えて新しい活動もしたい	30
3	現在の活動に代えて別の活動をしたい	8
4	活動を縮小したい	122
5	活動をやめたい	55
6	わからない	36
7	その他	29



問 8 コロナ禍を経て、地域福祉活動や地域における人と人とのつながりについてどのように感じていますか【一つのみ選択】

n= 491

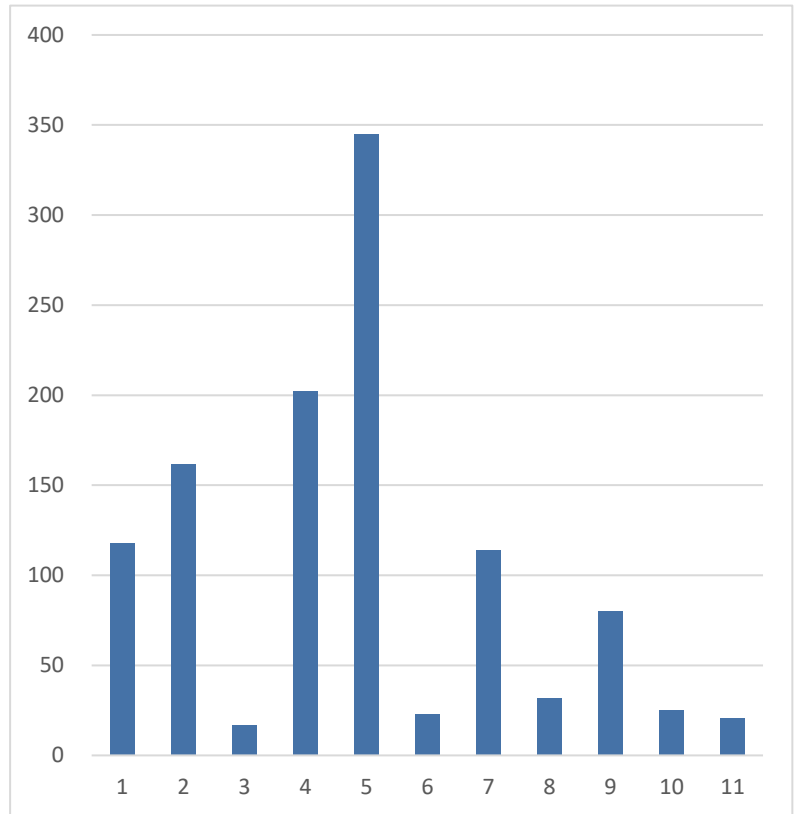
1	地域福祉活動の停滞やつながりの希薄化を非常に感じる	123
2	地域福祉活動の停滞やつながりの希薄化をやや感じる	241
3	地域福祉活動やつながりについて変化はない	93
4	地域福祉活動の活性化やつながりの促進をやや感じる	24
5	地域福祉活動の活性化やつながりの促進を非常に感じる	10



問 9 地域福祉活動を行う上で、感じている課題を教えてください【複数回答可】

n= 491

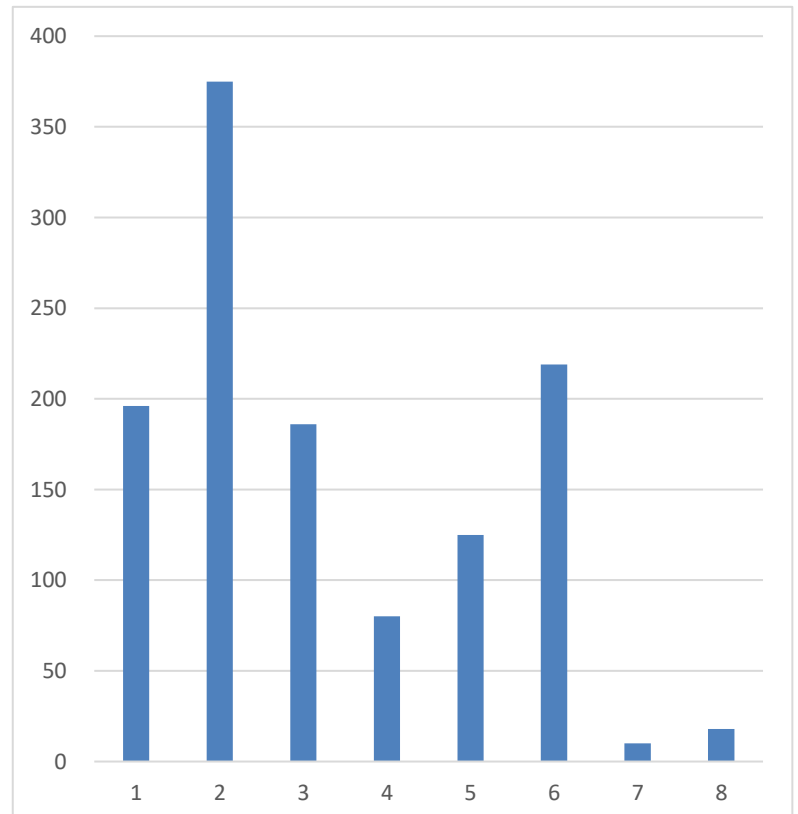
1	活動時間を確保することが大変である	118
2	活動に伴う体力面・健康面の不安が大きい	162
3	活動に伴う経済的負担が大きい	17
4	活動を行うメンバーが不足している	202
5	活動を行うメンバーが固定し高齢化している	345
6	活動するための場所の確保が難しい	23
7	活動がマンネリ化している	114
8	活動を行う際に相談できる人や窓口がない	32
9	活動に伴う責任が大きい	80
10	特にない	25
11	その他	21
合 計		1,118



問 10 今後、特にどのような世代又は人の積極的な地域福祉活動への参加を期待しますか【3つまで選択可】

n= 491

1	元気な高齢者	196
2	定年で退職した人や子どもが独立したような中高年世代	375
3	公務員や教育関係者など知識や経験が豊富な世代	186
4	(3を除く)現役世代	80
5	高校生や大学生などの若年世代	125
6	専業主婦や主夫などで時間に余裕がある人	219
7	わからない	10
8	その他	18
合 計		1,209

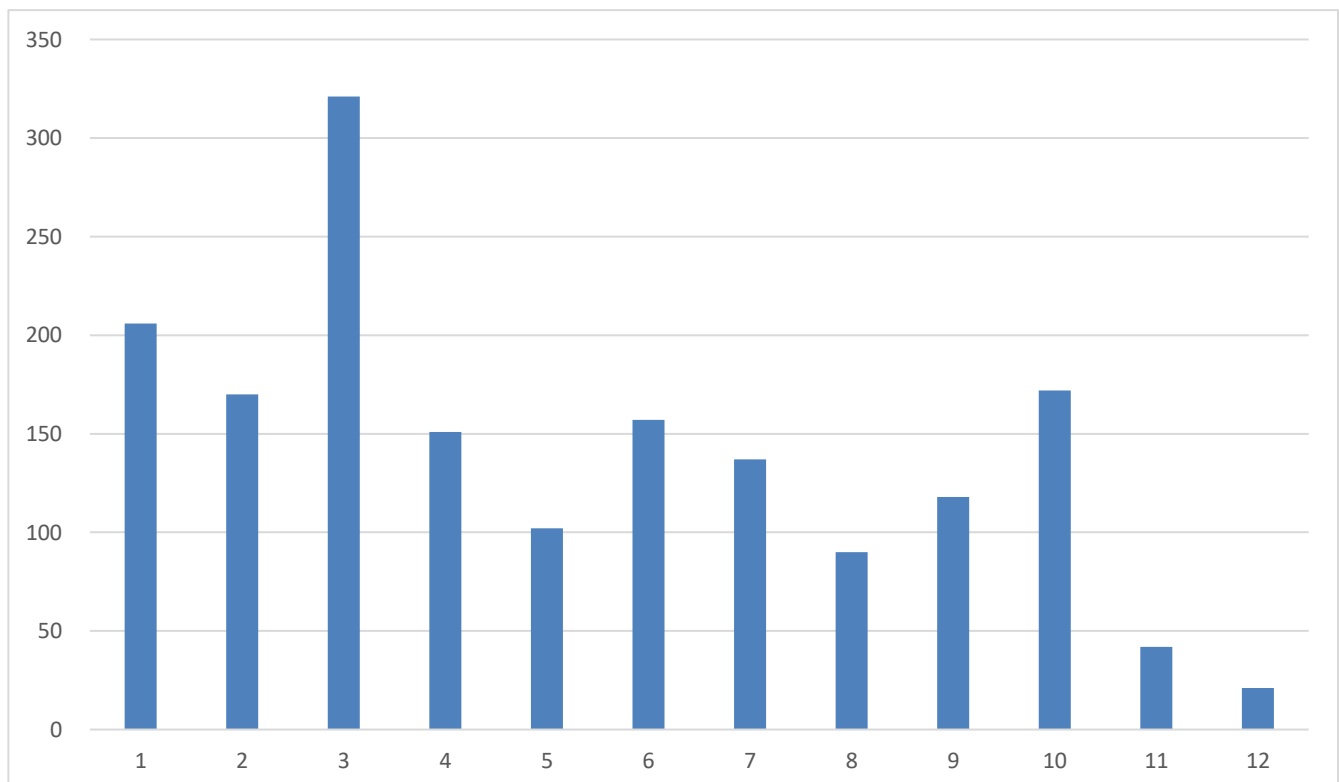


問 11 地域福祉活動への参加者を増やすために、どのようなことが必要だと思いますか
【複数回答可】

n= 491

1	活動への参加に係るさらなる周知（周知方法の工夫など）	206
2	活動目的の明確化及び活動内容の充実	170
3	身近な場所で気軽に参加できるような雰囲気	321
4	活動に必要な費用に係る十分な援助	151
5	活動に際して相談できる窓口の充実	102
6	行政による研修等を通じた地域福祉活動を行う人材の育成	157
7	活動の企画・運営に係る負担の軽減	137
8	既存の活動に関わらず、世代間での意見交換を踏まえた活動内容の決定	90
9	他の地域で成果をあげている活動（好事例）を学ぶ	118
10	子どものうちから地域福祉を学ぶ機会の充実	172
11	コロナ禍を経て普及しつつあるICT（※2）を取り入れた活動の模索	42
12	その他	21
合 計		1,687

※2 情報（Information）や通信（Communication）に関する技術（Technology）の総称。通信技術を使って、インターネットを通じて人と人がコミュニケーションをとるための技術【例：スマートフォン等を利用した、対面によらない情報のやりとり（テレビ電話）や動画視聴などの各種サービスの利用など】

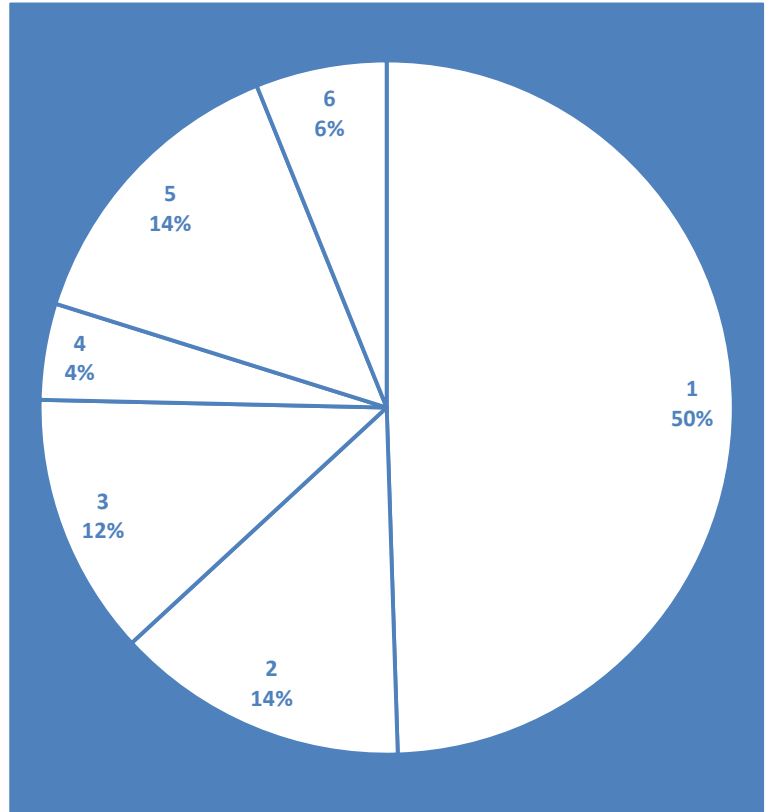


問 12	社会福祉法人が行う公益的な活動や、福祉事業を展開するNPOなどの団体が行うコミュニティビジネス<ソーシャルビジネス>（※3）によって、地域課題の解決を含む活動を行うことについて、どのように思いますか【一つのみ選択】
------	---

※3 コミュニティビジネス<ソーシャルビジネス>とは、地域課題を解決することを目的として、地域の住民との協力や社会資源の活用により、NPOなどの団体がビジネス的な手法で取組む活動や事業

n= 491

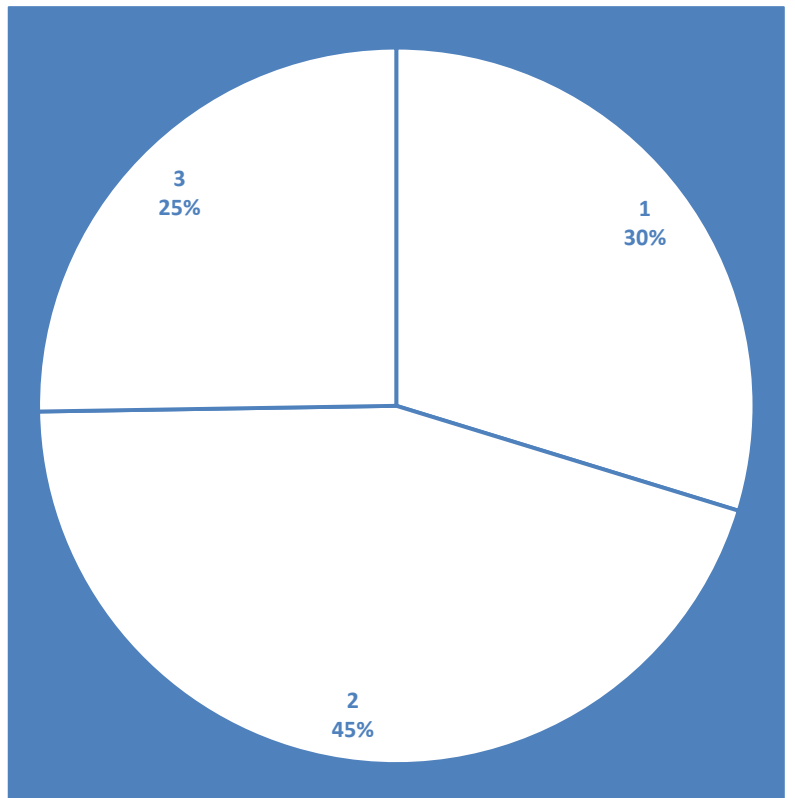
1	法人や団体とともに地域課題の解決を含む活動を行うことは良いことだと思う	243
2	地域づくりや、地域福祉活動の主体として大いに期待している	67
3	地域のニーズと法人等が実施する事業にミスマッチが生じないか懸念される	60
4	法人等が継続的に事業を実施してくれるのか不安に感じる	22
5	関心はあるが地域や費用負担などわからないことが多い。	69
6	その他	30



問 13 -1	日頃の活動の中で、介護保険制度や障害福祉サービス等の公的な福祉制度に該当しないものの日常生活に支援が必要なケースや、世帯の中で複数の福祉制度の活用を要する、または周囲との関わりに拒否的で社会的に孤立している等の理由で日常生活に支援が必要な（必要と思われる）ケース（以下「制度の狭間や複合化・複雑化した福祉的課題を抱える世帯」といいます）の存在を把握したことはありますか【一つのみ選択】
------------	--

n= 491

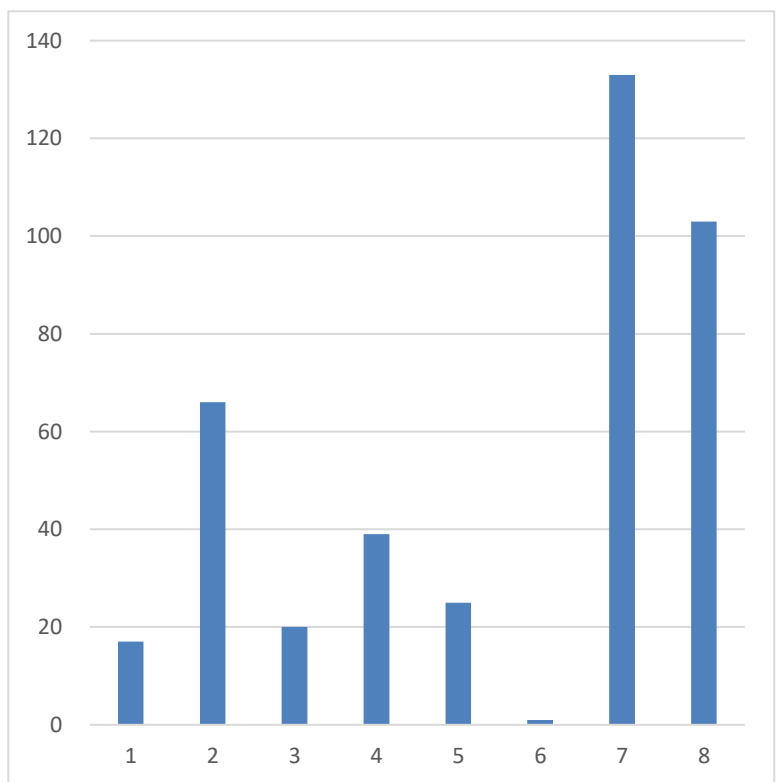
A	ある → 問13-2に進んでください	146
B	ない → 問15に進んでください	221
C	わからない → 問15に進んでください	124



問 13
-2 あなたが把握している「制度の狭間や複合化・複雑化した福祉的課題を抱える世帯」の数を記載してください

n= 146

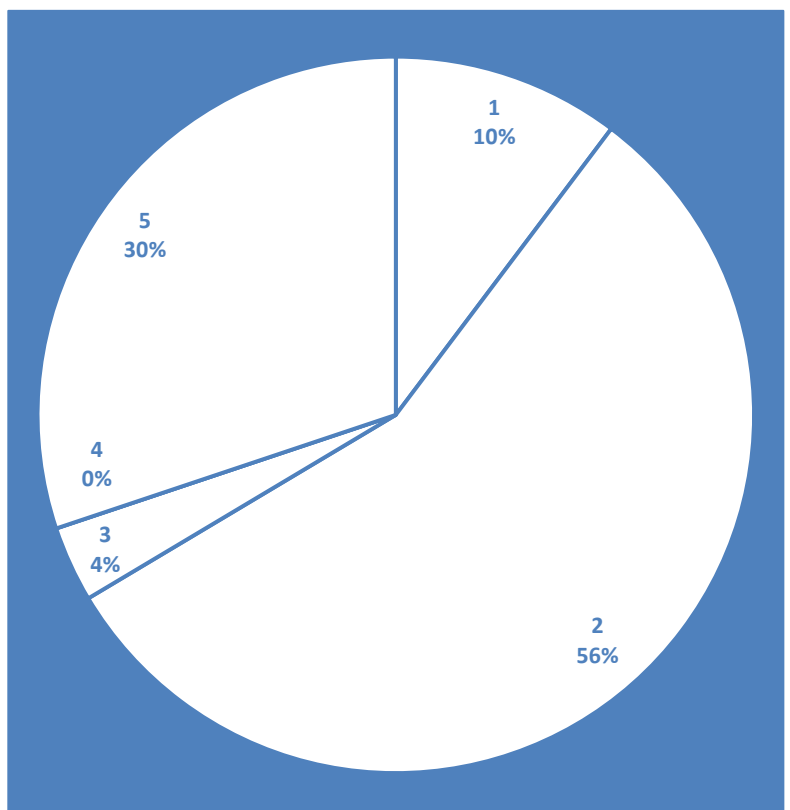
1	子育てと親の介護に同時に直面し困っている世帯	17
2	高齢の親と就労していない独身の中高年の子どもで構成される世帯	66
3	障害のある子どもを監護している親自身が、高齢や障害等により判断能力の低下が疑われる世帯	20
4	ごみが適正に処分されず周辺住民から苦情等が寄せられている世帯	39
5	ひきこもり状態の子を抱え適切な支援につなげていない世帯	25
6	ヤングケアラー（家事や家族の世話などで学業や生活習慣に影響がある子ども）がいる世帯	1
7	家族や地域との関わりがなく社会的に孤立した世帯	133
8	本人は支援の必要性を認識していないものの、周囲からみて明らかに支援の介入が求められると思われる世帯	103
合 計		404



問 14 「制度の狭間や複合化・複雑化した福祉的課題を抱える世帯」の増減について、どのように感じますか【一つのみ選択】

n= 146

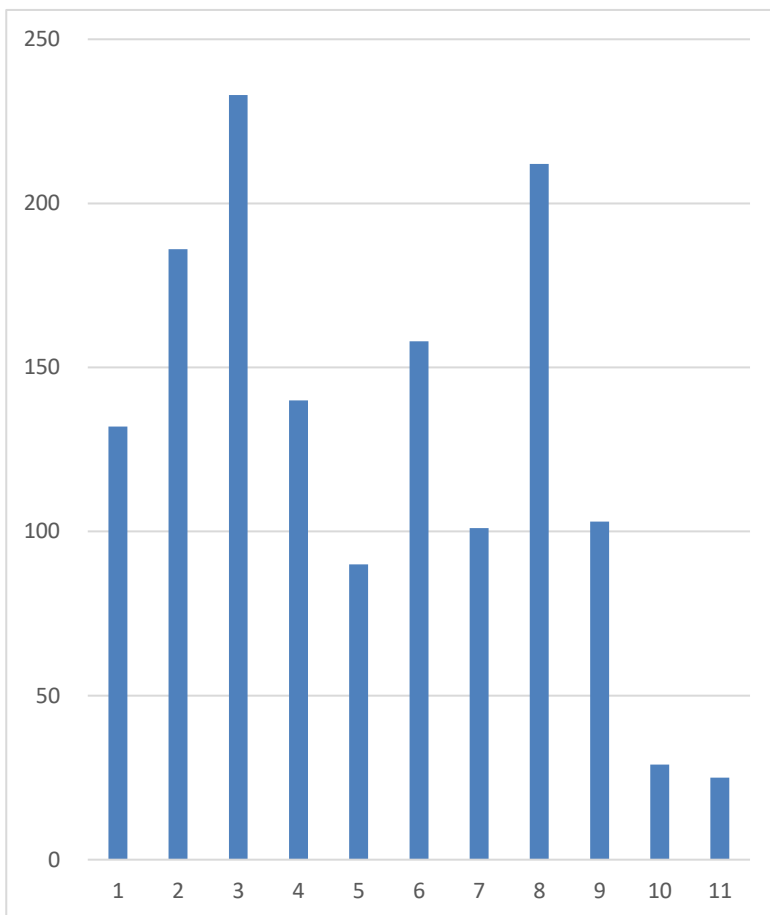
1	非常に増えている	15
2	増えている	82
3	減っている	5
4	非常に減っている	0
5	変わらない	44



問 15 「制度の狭間や複合化・複雑化した福祉的課題を抱える世帯」に対する支援の充実に当たっては、次のうちどのようなことが必要と思われますか【複数回答化】

n= 491

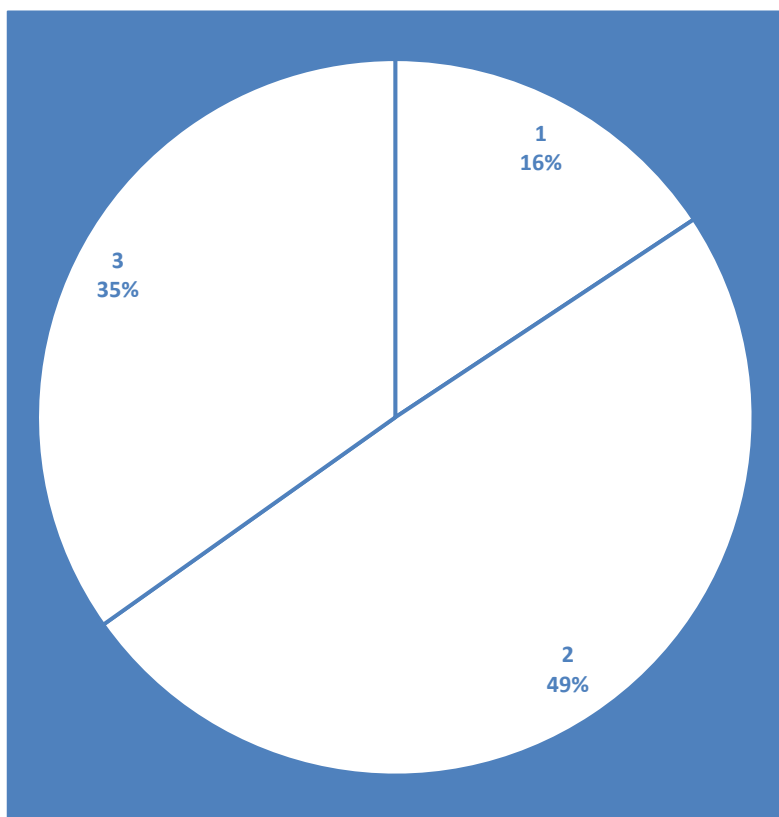
1	高齢や障害、病気により多様な特性を有することについて、地域住民の理解を促進する取組	132
2	地域住民への地域福祉活動の重要性の啓発と活動の担い手の確保	186
3	身近な地域での見守りや支援体制の充実	233
4	見守り等を行う活動の担い手に対する福祉専門職によるフォロー	140
5	社会福祉法人やNPOなど、行政以外の担い手による公益的な地域福祉活動の充実	90
6	身近な地域で包括的に相談を受け止められる体制の整備	158
7	専門的な相談機関の連携による支援調整の実施	101
8	必ずしも課題解決を急がず、対象者に寄り添い信頼関係を築きながら継続的に実施する支援	212
9	対象者の状況にあった社会参加を促していく支援	103
10	わからない	29
11	その他	25
合 計		1,384



問 16 地域まるごと支援員について知っていましたか。またこれまでに情報共有やケース支援で協働したことはありますか【一つのみ選択】

n= 491

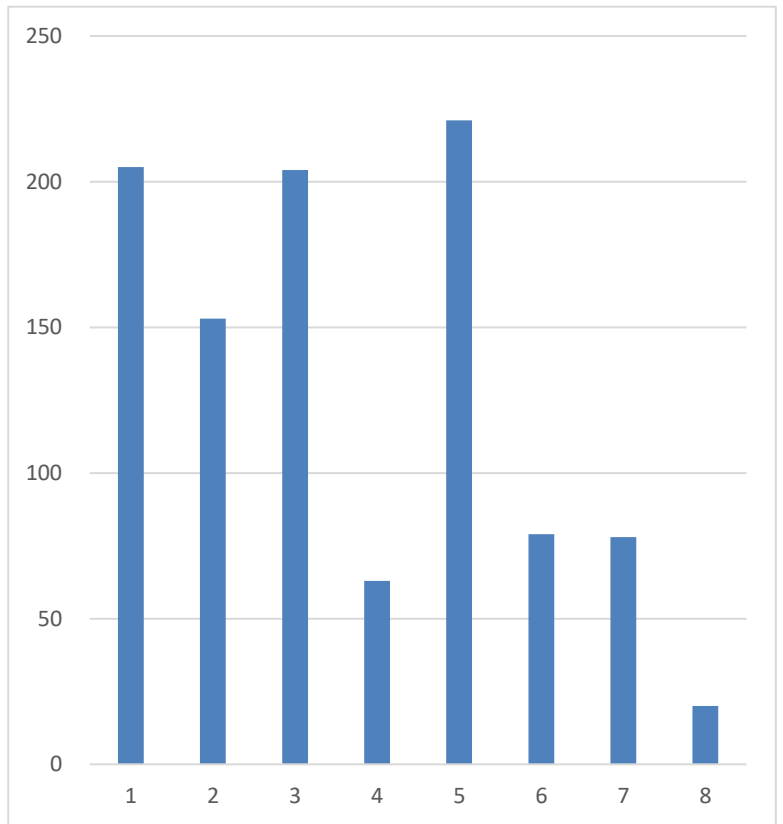
1	知っており、情報共有やケース支援で協働したことがある	77
2	知っているが、情報共有やケース支援で協働したことはない	243
3	知らなかった	171



問 17 あなたの地域において最も不足していると考えられる、日常生活に支援が必要な世帯に対するサービスは、次のうちどれですか【複数回答可】

n= 491

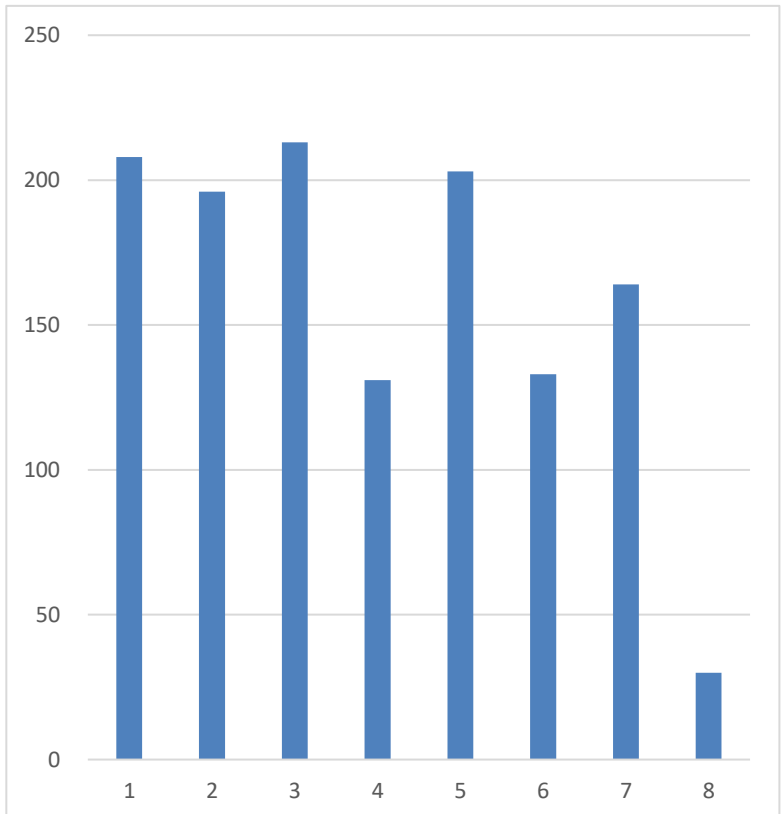
1	話し相手や軽易な相談に関するサービス	205
2	買い物や近くまでの外出の付添いや送迎のサービス	153
3	安否確認や見守りのサービス	204
4	庭の草刈りに関するサービス	63
5	除雪に関するサービス	221
6	ゴミ出しに関するサービス	79
7	わからない	78
8	その他	20
合 計		1,023



問 18 今後より市民が福祉に関して相談しやすいと感じるためには、どのようなことが必要であると考えますか【複数回答可】

n= 491

1	相談窓口のさらなる周知を行う	208
2	市民の「相談することに対する」敷居を下げるような配慮を行う	196
3	集いの場など、窓口ではなく気軽に相談ができるような配慮（出張相談等）	213
4	窓口で一度受け止めた相談については、個人情報の取扱いを踏まえ、適宜市の部署間及び相談窓口間で連携し、然るべき支援体制を構築する	131
5	町内会の加入促進等により、困っている人を近所で気づける体制の確保	203
6	住民や地域福祉の担い手からの情報に基づく、専門職による訪問相談	133
7	地域福祉の担い手同士で情報交換を行うことによる支援対象者の把握	164
8	その他	30
合 計		1,278



問 19 あなたが思う、市民一人ひとりが日々の生活の中で、地域共生社会の実現に向け、特に意識すべきことや行動について回答してください【3つまで選択可】

n= 491

1	地域福祉に関する講座やイベントに参加する	109
2	身近な所に福祉的課題を抱え困っている人や世帯がいることを知る	195
3	困っている人や世帯を見つけたら、地域福祉の担い手や支援機関等に相談をする	278
4	自分や家族の健康増進に努める	177
5	それぞれの特技や能力、心身の状態に合わせボランティア活動その他様々な活動に参加する	136
6	高齢や障害、病気により多様な特性を有する人がいることを理解し、暮らしの中で、その人にあった配慮や気づかいを心がける	308
7	その他	25
合 計		1,228

